

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0053
東京都千代田区民権1-2-5
日中友好会館
TEL: 03(5483)2148(F)
FAX: 03(5483)2147
http://www.jcf.or.jp
E-mail: nichu@jcf.or.jp
URL: www.jcf.or.jp
TEL: 03(5483)2148
FAX: 03(5483)2147

日中友好協会
岡山支部
〒710-0024
岡山市北区下伊福
西町1-58 民生会館1F
TEL: FAX: 086(2)258-1806

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8031
倉敷市福町西通32461-41
TEL: FAX: 086(4)411-7860

中国語講座生で香川善通寺に初もつで!

真田紀子



1月18日の日曜日、5人で出かけました。車2台で瀬戸大橋を渡り、ナビゲーションに従って善通寺に到着したのは10時20分ごろでした。早めにうどん屋に行つたほうがゆつくり食べられるというところで、うどん屋を探しますが、近くのうどん屋がお休みです。少し歩いて見つけたうどん屋がちょうど開いたところだったので入りました。うどんがしっかりしていて美味しかったです。並み盛りが一玉で

中盛りが一玉半、大盛りが二玉ということ。劉老師と胡ちゃんは大盛り、小川さんと田中さんと私は並み盛りです。残念ながら食べることができなくて小川さんに助人をお願いしました。善通寺は第75番札所で、弘法大師空海の誕生地ということに知られています。境内は大きく二つに分かれていて駐車場から石橋を渡つてまず西院が広がっています。その中心が御影堂です。そこにお

参りして、御影堂の地下にある戒壇巡りを小川さん田中さん劉老師が体験している間、私と胡ちゃんは先に東院についてみました。そこには扉の内側に五〇〇羅漢が並んでいました。一つ一つ顔が違います。台座に記してある文字が簡体字なので、中国で作られているのではという話になりました。

東院には五重塔があり、そこで記念撮影をしました。五重塔の西には樹齢千数百年にもなるという大楠が2本立っていて、その大きさに圧倒されます。

胡ちゃんが朱印帳に御朱印を貰いたいというので、納経所へいただきました。若い人が御朱印をいただくのはどうしてなのか、流行りなのでしょうか。この後小川さんもいただきました。

2時過ぎぐらいに善通寺を後にするとき、折角香川に行くのだからどこかお勧めのところを友人に聞いたところ、美味しいパン屋さんがあるという情報を小川さんが話してくれました。パン大好きな私としては大喜びです。

石窯パン工房パベル丸亀店です。ネットで調べてナビで向かいます。かなり大きなパン屋さんでした。店内に入るといい匂いがしま

す。それだけでも美味しいパン屋さんだとわかりますが、お客さんでいっぱいです。

美味しいそうな焼き立てパンを買い、無料で飲めるコーヒーをいただきますながらイトインで美味しい3時のおやつです。大変満足できる味でした。

太極拳クリスマススイフ

望年会

岡田民

12月24日クリスマススイフに太極拳メンバー+知人16名有松さんのガラス工房「透明館」にて恒例の望年会がありました。前回作らせていただいたグラスを持ち寄り乾杯。今回は小鉢を体験製作させていただきました。その人らしい作品をお互い鑑賞。美味しいお酒と数々の料理、電子ギターの弾き語りもあり、心もお腹もいっぱいになりました。最後は赤鼻のトナカイを歌いながらプレゼントを回し交換、不思議な事にその人に合ったプレゼントが膝元に舞い込みました。工房も暖かく、人のぬくも



りも心地よく忘れられない一時になりました。今度は花見かな? 仮装パーティー? 楽しみます。

中国残留孤児はどうして生まれたのか?

第7回

2026年3月15日(日) 14時~

岡輝公民館

内容:「戦後80年

柳樹河開拓団・龍爪開拓団訪問記」

参加費: 500円

どなたでも自由にご参加ください

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rzhongyouthao.iinaa.net/
メールアドレス
nichuokayama@yahoo.co.jp



インタビュ― 李超氏に聞く

大型ロボット開発で

ロボット活用の拡張性を拓く

昨年のことになりますが、12月

6日、国際交流センター前の路上で、青色をした四つ足で動く見慣れない物が近づいて来るのを見ました。それは、中国の動画の中ではよく見かける大型のロボットでした。

この大型ロボットを散歩させていた方とは、その場で少しばかりお話しすることができましたが、私にはとても興味深い出会いでした。

そこで、更に詳しくお話を聞きしたいと思い、先日、インタビュ―をお願いしたところ、快く応じて下さりました。

この方は李超さんです。株式会社ランネットシステムの代表取締役社長をされています。また、李さんは、社会貢献も積極的に行われています。2023年に発生したトルコ・シリア大地震の際には、復興支援「チャリティーコンサート」を

岡山県内在住外国籍団体・個人とそれに協賛する日本の団体・個人実行委員会」の主要なメンバーの一人としてご活躍され、当日のライブ配信も提供されていました。このチャリティーコンサートには、日中友好協会の小川涼子さ

んも大極拳演武で出演されています。(岡山朝鮮初中級学校も民族舞踊と民族楽器演奏で参加されていました。)

1月7日、北区弓之町の岡山県備前県民局のちようど道向かいにある李さんの会社を訪問しました。

ビルディングに入ろうとした時、その直前にどなたかエレベーターの中に入つて行かれました。すぐにその方が李さんだと気づき、その便に同乗させていただきました、5階へと向かいました。前回お会いした時と同様にすぐに親しく対応して下さい、その時からがもう「インタビュ―」の始まりでした。

株式会社ランネットシステムは、岡山貿易株式会社を母体として設立された会社だということでした。その岡山貿易株式会社は、日本と中国が国交を回復する10年前の1962年2月に設立された会社で、岡山県内における日中専門の輸出入会社として地場企業の日中貿易をサポートしてきたとのことでした。

李さんは、岡山市の姉妹都市でもある洛陽市(洛阳市)の東隣の鄭州市(郑州市 河南省の省都)のご出身です。日本語は中国国内で学ばれ、日本企業による浙江省の発電所建設等の現場で通訳としてご活躍されていました。仕事を介し

京でお仕事をされていたそうです。長期間岡山に滞在するようになるのと、岡山貿易株式会社の社長さんとお知り合いになり、社長さんからランネットに入るように誘われ、岡山に住むようになったとのことでした。

ランネットシステムは企業向けにソフトを開発する会社です。企業からの要請に応じてソフト開発を行っています。自社商品のソフトウェア開発も行っています。受注によるソフト開発だけではなく、受注がない期間があると収益がなくなるため、自社開発のソフトウェアも必要になってくるのとのことでした。

大型ロボットの躯体は中国で作られたものです。李さんたちは、このロボットを動かすソフトウェアを開発しています。移動するロボットには、様々な形をしたものがありますが、大型ロボットを選んだのは、このロボットが四足歩行をするからだそうです。李さんは、四足歩行が強みを持っている「安定した牽引力」という点に着目しておられます。馬が牽引すると馬車になり、動力車が牽引すると貨物列車になるように、四足ロボットが台車を使

安定して牽引すれば多様な用途に使えるようになります(「AI馬車」：李さん命名)。それが李さんの開発理念です。

では、台車を何で載せることができるのでしょうか。李さんは、一例として、工事現場の安全パトロールのため

の機材や、夜間の安全歩行のための機材、農業における鳥よけなどの機材、自然災害を監視するドローンなどの機材を載せることができると考えられています。

中国のAIであるdeepseek(「DeepSeek」)の話に移ると、このAIは情報よりも考える力に優れているとお考えでした。AI馬車」という発想を持つに当たっても、deepseek との会話を参考にしたことでした。また、長期に入院している子どもたちのために、ロボットが台車に載せて「文化を運ぶ」というAIによるアイデアも

参考になったとのことでした。例えば、ロボットを通して子どもと好きな有名人とが繋がれば、台車に機材を載せて映像や音声などを子どもに届け、それが希望に繋がるのではないかともおっしゃっておられました。

李さんからお話を聞きしていると、このロボット開発に寄せる李さんの熱い思いが、ひしひしと伝わってきました。

二時間ほどもお話をしてお聞きいただきありがとうございました。李さんは、私が車を置いている駐車場まで、見送って下さりました。日本でも、李さんが開発してい

る大きさの大型ロボットが購入できるようにはなってはいませんが、ロボット単体での使用を想定しています。李さんが目指している台車を活用する方法で、拡張性のあるロボット開発が進めば、大型ロボットに新たな価値を生み出すことができるでしょう。

李さんの今後のご活躍を祈念しながら、李さんの国で作られた私の愛車を「D」ランジ(Built Your Dreams)に切り替えました。

(大月 正雄 筆)



次回の新聞送作業は2月12日(木)10時半から民主会館1階で行います。前回お手伝いくださった方です。

井飼月田
河犬大真